**（抄録提出用）**

下記の様式に従って2頁目の記載例を参考に、演題名、所属、演者氏名、抄録本文（1,000文字以内、文字サイズ10.5pt）を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 演題名 | 和　文 |  |
| 英　文 |  |
| 所属 |  |
| 発表者氏名 | 漢　 字 |  |
| ローマ字 |  |
| 抄録本文 |  |

**（抄録記載例）**

歯式による表記が必要な場合は、囲み線をつけて記入して下さい。

（例：上顎右側第一大臼歯、右上６番）抄録集編集の際に歯式に変換します。

なお、歯式変換の際、実際のものと異なる恐れがありますので、お手数ですが別途、**手書きで記入**

**したものを、運営事務局宛FAX（025-278-7285）してください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 演題名 | 和　文 | 抄録の書き方 |
| 英　文 | **Guidance of making abstract** |
| 所属 | 甲北信越大学歯学部歯科矯正学講座１新潟県２※所属は縦に羅列し、末尾に演者所属に一致する数字を「上付き」で記入してください。 |
| 発表者氏名 | 漢　 字 | 甲北太郎１, 信越花子２※所属と同様に、末尾に所属に該当する数字を「上付き」で記入してください。 |
| ローマ字 | KOHHOKU T., SHIN-ETSU H.　　※半角で記入し、名の頭文字の後に「.（ピリオド）」。連名の場合は、その後に「,（コンマ）」で区切り、半角スペースを入れてから記入をしてください。 |
| 抄録本文 | 発表内容に応じて記載して下さい。研究発表の場合【目的】　・・・【資料および方法】・・・【結果および考察】・・・【結論】　・・・症例報告の場合【目的】　・・・【症例】・・・【診断および治療方針】・・・【治療経過および結果】・・・【考察およびまとめ】　・・・ |